



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)



2025年11月12日

上場会社名 株式会社 なとり 上場取引所 東

コード番号 2922 URL https://www.natori.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 名取 三郎

取締役執行役員 経営企画部長兼経理 問合せ先責任者 (役職名) (氏名) 安宅 茂 TEL 03-5390-8111 部長

2025年11月13日 半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日 2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上	高	営業和	J益	経常利	J益	親会社株主に 中間純:	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	23,720	1.0	212	78.1	232	76.9	184	73.1
2025年3月期中間期	23,949	5.3	968	13.9	1,006	22.1	685	27.1

(注)包括利益 2026年3月期中間期 451百万円 (26.5%) 2025年3月期中間期 613百万円 (16.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円銭	円銭
2026年3月期中間期	14.65	
2025年3月期中間期	54.51	

(2) 連結財政状態

()			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	41,580	26,512	63.8
2025年3月期	41,572	26,212	63.1

(参考)自己資本 2026年3月期中間期 26,512百万円 2025年3月期 26,212百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
2025年3月期		12.00		12.00	24.00		
2026年3月期		13.00					
2026年3月期(予想)				13.00	26.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期第2四半期末配当金の内訳: 普通配当 12円00銭 創業88周年記念配当 1円00銭 2026年3月期期末配当金の内訳: 普通配当 12円00銭 創業88周年記念配当 1円00銭

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日~2026年 3月31日)

(%表示け 対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	50,000	2.3	1,800	8.6	1,830	9.6	1,270	6.1	100.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	15,032,209 株	2025年3月期	15,032,209 株
2026年3月期中間期	2,449,756 株	2025年3月期	2,449,656 株
2026年3月期中間期	12,582,540 株	2025年3月期中間期	12,582,553 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.4「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	. 2
	(1) 当第2四半期(中間期)の経営成績の概況	. 2
	(2) 当中間期の財政状態の概況	• 4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 4
2.	中間連結財務諸表及び主な注記	. 5
	(1) 中間連結貸借対照表	. 5
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	. 7
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	. 9
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	.10
	(継続企業の前提に関する注記)	.10
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.10
	(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	.10

1. 経営成績等の概況

(1) 当第2四半期(中間期)の経営成績の概況

当中間連結会計期間において当社グループは、売上面では、お酒のおつまみ用途だけでなくおやつ需要にも適した新製品の導入と市場定着を図りながら、主力製品の販売促進策に引き続き取り組みましたが、2025年6月より段階的に価格改定及び内容量変更を進めた一部製品(いか製品・揚物製品等)の販売数量が一時的に落ち込んだ影響等により減収となりました。利益面では、前述の一部製品の価格改定等の取り組みとともにコストコントロールの徹底、プロダクトミックスの改善等の諸施策を講じたことにより、第1四半期までの赤字を解消し黒字に転ずることができました。しかしながら、いか原料を中心とする原材料価格の高騰の影響を全て取り戻すまでには至らず減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高237億20百万円(前年同中間期比1.0%減)、営業利益2億12百万円(同78.1%減)、経常利益2億32百万円(同76.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益1億84百万円(同73.1%減)となりました。

なお、原材料価格等の一層の高騰により2025年6月から段階的に進めたいか製品・揚物製品等の価格改定及び内容量変更に加え、2025年11月より予定している徳用製品の価格改定等による増益効果も今後期待されますので、当連結会計年度の通期業績予想につきましては、2025年5月9日に公表しました連結業績予想から変更はございません。

引き続き、全社をあげたコストコントロールを徹底すると同時に、原材料価格の動向、その他様々なコストの増加要因をしっかりと見定めながら、利益確保のための諸施策に取り組み、通期業績予想の達成に向け邁進してまいります。

	24 T BB 1 T 1/4 V	⇒1 Hu nn	717 T- BB 747 V	⇒1		
	前中間連結会	計期間	当中間連結会計期間			
	(自 2024年4	月1日	(自 2025年4	月1日	2244-641	du 4-44 1
	至 2024年 9	月30日)	至 2025年9	月30日)	増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	23, 949	100.0	23, 720	100.0	△229	△1.0
売 上 総 利 益	5, 087	21. 2	4, 478	18. 9	△608	△12.0
販売費及び一般管理費	4, 118	17. 2	4, 266	18.0	147	3.6
営 業 利 益	968	4. 0	212	0.9	△756	△78. 1
経 常 利 益	1,006	4. 2	232	1.0	△774	△76. 9
親会社株主に帰属する 中間純利益	685	2. 9	184	0.8	△501	△73. 1

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記のとおりであります。

		前中間連結会	計期間	当中間連結会	計期間		
	区 分	(自 2024年4 至 2024年9		(自 2025年4 至 2025年9		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
	水産加工製品	9, 871	41. 2	9, 711	40.9	△160	△1.6
食品	畜肉加工製品	4, 420	18. 5	4, 271	18.0	△149	△3.4
製	酪農加工製品	4, 179	17. 4	4, 331	18. 3	151	3. 6
造販	農産加工製品	980	4. 1	1, 111	4. 7	130	13. 3
売	素材菓子製品	1, 405	5. 9	1, 464	6.2	59	4. 2
事業	チルド製品	1,003	4.2	993	4.2	△9	△1.0
未	その他製品	1, 873	7.8	1,623	6.8	△250	△13.4
	計	23, 735	99. 1	23, 505	99. 1	△229	△1.0
	不動産賃貸事業計	214	0.9	214	0.9	0	0.2
	売上高合計	23, 949	100.0	23, 720	100.0	△229	△1.0

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、「映画クレヨンしんちゃん」とコラボして期間限定パッケージも発売した「チーズinかまぼこ」や、魚のすり身を薄く伸ばしふんわりと焼き上げた「お徳用 味付焼きかまぼこ」、いかの姿フライなどが売上を伸ばしましたが、2025年6月より段階的に価格改定及び内容量変更を進めた「いか製品」等の販売数量が一時的に落ち込んだ影響等により、減収となりました。畜肉加工製品は、エバラ食品工業とコラボした期間限定の新製品「THEおつまみBEEF 厚切ビーフジャーキー 黄金の味 中辛風味」などのジャーキー製品が伸長しましたが、ドライソーセージ製品の売上が減少し、減収となりました。酪農加工製品は、「チータラーズ」のイラストを入れるデザインリニューアルと増量キャンペーンを実施した「チータラ。お徳用」シリーズや、SNSのお客様投票で作った期間限定品「チータラ。こんがり焼きとうもろこし風味」などのチーズ鱈。製品が売上を伸ばし、増収となりました。農産加工製品は、食べきりサイズのナッツ製品「JOLLY PACK」シリーズなどの売上が伸長し、増収となりました。素材菓子製品は、汗をかいたときに失われる塩分や電解質を手軽に補給できる「甘ずっぱいカリカリ梅 種ぬき」や、梅のすっぱさとほどよい甘みが楽しめる「梅ぼしシート」などが売上を伸ばし、増収となりました。チルド製品は、チルドならではのなめらかな口どけが特長の「なめらか チータラ。製品が伸長しましたが、フードパック製品の売上が減少し、減収となりました。その他製品は、アソート製品などの売上が減少し減収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は235億5百万円(前年同中間期比1.0%減)、営業利益は60百万円(同92.6%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は2億14百万円(同0.2%増)、営業利益は1億51百万円(同1.8%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、415億80百万円(前連結会計年度末比7百万円増)となりました。その主な内訳は、下記の通りであります。

「資産の部」では、受取手形及び売掛金が6億31百万円減少しましたが、原材料及び貯蔵品が8億円増加しました。原材料及び貯蔵品の増加は、年末の繁忙期に向けて原材料等を積み増したためです。

「負債の部」では、借入金は返済が進み2億35百万円減少し、未払金が2億30百万円減少しました。結果、負債は150億67百万円(同2億92百万円減)となりました。

「純資産の部」では、その他有価証券評価差額金が2億71百万円増加しました。結果、純資産は265億12百万円 (同3億円増)となりました。

以上を受けて自己資本比率は、前連結会計年度末比0.7ポイント増加の63.8%となっております。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、40億11百万円(前連結会計年度末比2億7百万円減)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億46百万円の収入(前年同中間期は4億69百万円の支出)となりました。棚卸資産が3億99百万円増加した一方で、売上債権が6億31百万円減少、減価償却費が5億64百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億65百万円の支出(同2億91百万円の収入)となりました。有形固定資産の取得による支出が2億4百万円あったこと等によるものです。

この結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュフローは 3 億81百万円の収入(同 1 億77百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億88百万円の支出(同12億66百万円の支出)となりました。借入金、ファイナンス・リース債務の返済による支出が4億37百万円あったこと等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
自己資本比率(%)	57. 0	62. 2	63. 8
時価ベースの自己資本比率 (%)	58. 6	65. 0	60. 6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	185. 5		798. 2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	199. 8	_	28. 2

(注) 自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュ・フロー/利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しています。

※「一」表示は、値がマイナスであることを表しています。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4, 509, 997	4, 402, 587
受取手形及び売掛金	8, 762, 519	8, 130, 679
商品及び製品	2, 026, 615	1, 656, 582
仕掛品	907, 334	875, 541
原材料及び貯蔵品	4, 376, 710	5, 177, 619
その他	392, 081	351, 303
貸倒引当金	△174	△159
流動資産合計	20, 975, 084	20, 594, 153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8, 417, 379	8, 293, 495
土地	6, 914, 959	6, 878, 104
その他(純額)	1, 463, 040	1, 602, 893
有形固定資産合計	16, 795, 378	16, 774, 493
無形固定資産	949, 918	948, 426
投資その他の資産	2, 852, 144	3, 263, 389
固定資産合計	20, 597, 441	20, 986, 309
資産合計	41, 572, 526	41, 580, 462

(単位:千円)

		(単位:十円 <u>)</u>
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4, 646, 660	4, 583, 217
短期借入金	2, 566, 000	2, 566, 000
1年内返済予定の長期借入金	470, 120	443, 040
未払法人税等	346, 613	154, 250
賞与引当金	351, 000	617, 270
役員賞与引当金	38, 000	19,000
その他	3, 434, 529	3, 127, 184
流動負債合計	11, 852, 922	11, 509, 963
固定負債		
長期借入金	1, 168, 080	960, 100
役員退職慰労引当金	721, 847	737, 597
退職給付に係る負債	686, 571	688, 923
資産除去債務	5, 825	5, 825
その他	924, 566	1, 165, 259
固定負債合計	3, 506, 890	3, 557, 706
負債合計	15, 359, 813	15, 067, 669
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 975, 125	1, 975, 125
資本剰余金	2, 290, 923	2, 290, 923
利益剰余金	23, 079, 701	23, 113, 039
自己株式	△2, 096, 461	$\triangle 2,096,662$
株主資本合計	25, 249, 288	25, 282, 426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	893, 297	1, 164, 544
退職給付に係る調整累計額	70, 125	65, 821
その他の包括利益累計額合計	963, 423	1, 230, 366
純資産合計	26, 212, 712	26, 512, 792
負債純資産合計	41, 572, 526	41, 580, 462

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
売上高	23, 949, 665	23, 720, 590
売上原価	18, 862, 250	19, 242, 073
売上総利益	5, 087, 415	4, 478, 517
販売費及び一般管理費	4, 118, 575	4, 266, 114
営業利益	968, 840	212, 403
営業外収益		
受取配当金	22, 868	28, 500
受取賃貸料	10, 883	12, 585
その他	32, 463	17, 181
営業外収益合計	66, 215	58, 266
営業外費用		
支払利息	16, 554	26, 407
賃貸費用	11, 934	11, 782
その他	149	217
営業外費用合計	28, 638	38, 407
経常利益	1, 006, 417	232, 262
特別利益		
固定資産売却益	_	75, 957
投資有価証券売却益	<u> </u>	5, 210
特別利益合計		81, 167
特別損失		
固定資産除却損	0	10, 425
特別損失合計	0	10, 425
税金等調整前中間純利益	1, 006, 417	303, 004
法人税等	320, 525	118, 675
中間純利益	685, 891	184, 328
親会社株主に帰属する中間純利益	685, 891	184, 328

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	685, 891	184, 328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72, 049	271, 246
退職給付に係る調整額	$\triangle 260$	△4, 303
その他の包括利益合計	△72, 310	266, 943
中間包括利益	613, 581	451, 271
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	613, 581	451, 271
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:千円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	王 2024年 9 月 30 日 /	主 2025年9月30日)
税金等調整前中間純利益	1, 006, 417	303, 004
減価償却費	587, 073	564, 366
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 3$	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	254, 376	266, 270
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18, 500	△19,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15, 125	15, 750
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4, 386	$\triangle 17,406$
受取利息及び受取配当金	△22, 898	△28, 897
支払利息	16, 554	26, 407
為替差損益(△は益)	$\triangle 15,450$	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△5, 210
固定資産売却損益(△は益)	-	△75, 957
固定資産除却損	0	10, 425
売上債権の増減額(△は増加)	551, 936	631, 757
棚卸資産の増減額(△は増加)	$\triangle 478, 161$	△399, 082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△785, 195	△38, 574
未払消費税等の増減額(△は減少)	△261, 809	222, 865
その他	△761, 209	△514, 420
小計	92, 640	942, 284
利息及び配当金の受取額	22, 876	28, 724
利息の支払額	△16, 591	△22, 925
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△568, 580	△302, 009
営業活動によるキャッシュ・フロー	△469, 655	646, 073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△100, 000
有形固定資産の取得による支出	△117, 581	△204, 828
有形固定資産の売却による収入	-	107, 012
無形固定資産の取得による支出	△154, 323	△55, 966
投資有価証券の取得による支出	△16, 609	$\triangle 17,425$
投資有価証券の売却による収入	1,000	6, 340
保険積立金の積立による支出	△149	△159
関係会社出資金の売却による収入	579, 487	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	291, 823	△265, 028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600, 000	-
長期借入金の返済による支出	△235, 060	△235, 060
自己株式の取得による支出	-	△200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△280, 812	△202, 216
配当金の支払額	△151, 086	△150, 978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1, 266, 959	△588, 455
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1, 444, 791	△207, 410
現金及び現金同等物の期首残高	5, 789, 272	4, 218, 966
現金及び現金同等物の中間期末残高	4, 344, 481	4, 011, 555

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用 後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。